



山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

2019年度 大学生による高校生のための はーと♥ふくし講座

報告パンフレット

～一緒に「福祉」を学ぼう～



はじめに

大学生による高校生のための「はーと♥ふくし講座」は、平成26年度入学生の教職課程生4年生が中心になって開始しました。「高校生に福祉を伝えたい」という思いから企画した講座ですが、「伝える」というよりも「一緒に福祉を学ぶ」という体験ができました。この報告パンフレットでは、高校生と大学生が共に学び合う様子をお伝えしたいと思います。

私たち(企画者)の思い

教職課程生は、3年次に受講する「福祉科教育法」の授業において、福祉教育の意義や必要性について理解を深め、さらに一人ひとりが福祉の授業実践として模擬授業を実施しています。4年前、その経験を通じて、地域の高校生に「ふくし」の心を伝えたい、福祉の輪を広げる実践をしてみたいという思いを持った教職課程生たちの声から、地域の高校生への福祉教育実践の企画が始まりました。先輩がはじめた取り組みを継承している「はーと♥ふくし講座」は4年目となりました。この講座では、福祉教育を「共に生きる教育」として捉え、社会福祉学部で学ぶ学生と、福祉を学んでみたいと考える高校生が共に学び合う、アクティブ・ラーニングを導入した学習プログラムです。

今年度は、本学部で14年間続いている「はーとボランティア講座」も含め、高校生を対象とした講座を4回、実施しました。本報告パンフレットでは、2019年度の「はーと♥ふくし講座」の報告として作成しました。このパンフレットを手にとってくださいましたすべての人と、福祉教育実践の意義を共有できたら幸いです。





第1回 はーと♥ふくし講座 社会福祉学部4年 山口奈緒子

2019年4月26日(金) 18:30~20:00

「私たちの暮らしの中の〈ふくし〉～地域共生社会に生きる私たちの役割を考えてみよう～」

- 目的**
- ・ふくしの理念について理解し、ノーマライゼーションの考え方をもとに地域共生社会の中で生きるうえで、どのような役割を担うことができるのかについて考える。
 - ・自分も共生社会を担う一員であることを認識する。
 - ・講義の中で積極的にグループワークの場を設け、自分の意見だけでなく、他の人の意見も受容する力を養う。
- 様子**
- ・県内の高校生37(男子6 女子29)名、学生スタッフ18名が参加しました。
 - ・「ふくしとは何か」について考える前に、自分の考える福祉の対象となる人々について表現してもらうことで、「ふくし」に対して肯定的なイメージを持ちながら講座を展開できるようにしました。また、そこから発展させて、私実際に感じた実習での学びを紹介することやノーマライゼーションの8原則について学ぶことなどを通して、ノーマライゼーションや共生社会について学び、「ふくし」がより自分たちに身近なものであることを感じられるようにしました。今年度1回目の開催で、高校生も大学生も緊張している様子が見られましたが、自己紹介をしたりグループワークをしたりするうちに打ち解け、温かい雰囲気の中で福祉の理解を深め、自分の共生社会を担う一員であることを認識することができたようです。



第2回 はーと♥ふくし講座 社会福祉学部4年 木下ありさ

2019年5月24日(金) 18:30~20:00

「視覚障害のある人との出会いから学んだこと～一人ひとりが役割や夢を持って生きることの大切さ～」

- 目的**
- ・視覚障害に対するイメージを整理し、視覚障害のある人が日々の暮らしをどのように過ごしているのかを知る。
 - ・障害のある・なしにかかわらず、皆が社会での役割を担うこと、夢を持つことの大切さを学ぶ。
 - ・障害のある人が役割や夢を持って生きるために私たちが出来ること、どう関わっていくかを考える。
- 様子**
- ・県内高校生県内の高校生30(男子4 女子26)名、学生スタッフ約15名が参加しました。視覚障害への理解を深めるために、福祉教材(紙芝居・写真)を用いて視覚的にわかりやすく示し、視覚障害について学びました。高校生は真剣まなざしで話を聞いており、自身の障害に対する思いや気付きを仲間と共有することで、学びを深める姿が多く見られました。多くの高校生が「障害に対するイメージが変わった」、「障害のある方と関わってみたい」という気持ちを抱いていました。障害は自分にとって身近なものである、ということが学べた様子でした。障害のある・なしにかかわらず、皆が社会での役割を担うこと、夢を持つことの大切さについて理解を深めることもできたようです。



第3回 はーと♥ボランティア講座 社会福祉学部4年 秋貞 和 教職課程3年生

2019年6月21日(金)

「福祉を学ぶ大学生からのメッセージ～高校生に伝えたい! 福祉の授業・ボランティア活動・海外留学・将来の夢について～」

- 目的**
- ・福祉を学ぶ大学生からのメッセージを聴いて、社会福祉をどのような方法で学んでいるか聴いて学ぶ。
 - ・大学生の福祉活動・ボランティア活動を知り、体験を通して福祉を学ぶことの大切さを知る。
 - ・想いを行動に移すこと、夢を描くことの大切さについて、大学生のメッセージから学び、自分の想いをことばに表す。
- 様子**
- ・県内の高校生34(男子4 女子30)名、学生スタッフ12名が参加しました。パワーポイントを用いて、大学生が行っているソーシャルワーク実習、サークル活動、海外研修などの様子を伝え、実際どのように福祉を学んでいるか紹介しました。グループで思いや感想を共有し、最後に一人ひとりがハート型の画用紙に将来の夢などを書き、ホワイトボードに貼り付けました。この学習活動を通して、想いを行動に移すこと、夢を描くことの大切さについて学ぶことができたようです。



第4回 はーと♥ボランティア講座 社会福祉学部4年 福本 結花

2019年7月31日(水)

「心のかようコミュニケーション～目と心と耳とで聴く『傾聴』について学ぼう～」

- 目的**
- ・傾聴を体験的に学ぶことを通して、人とのコミュニケーションについて理解する。
 - ・傾聴を学ぶことを通して、共生社会におけるコミュニケーションの方法を理解する。
 - ・普段の生活での身近な人とのコミュニケーションについて考察する。
- 様子**
- ・県内の高校生46(男子7 女子39)名、学生スタッフ11名が参加しました。大学生による傾聴やカウンセリングのロールプレイを見学したり、実際に高校生で2人組を作って傾聴のワークを行ったりしました。お互いに話す側、傾聴する側を経験することで、コミュニケーションについて改めて考え直すきっかけになったようです。今回の講座で学んだ傾聴のコツを、普段の生活でも活かしていけるよう工夫しました。また、私の実習の体験を聞く際、みんな真剣かつ楽しそうに話を聞いている様子が印象的でした。傾聴について学習したことを通して、普段の生活での身近な人とのコミュニケーションについて考えることができたようです。





高校生の感想

～福祉を学んで、いろんなことを感じてくれました～

福祉は幅が広く様々な分野に繋がっていて「しあわせ」の意味を学ぶことが出来ました。

話を聞いて、もっといろんなことを学んでみたいと思いました。

福祉の勉強をするだけでなく、サークルや研修に行っなくて、たくさんあることが分りました。

一步踏み出す勇気の大切さが分りました。

毎日笑顔で過ごして、たくさんの人とのつながりを作りたい。

色々な立場で困っている人たちの役に立てるようになりたいです。

みんなが幸せになれる環境を作りたいです。

福祉は高齢者や障害者の方に寄り添える素敵な分野だと思います。



高校教員・保護者から感想をいただきました

高校教員から

- ・ 様々な視点からの「大学生になったら」という経験談は、高校生にとって貴重な機会になったと思います。安心して高校生が参加できるものになっていてとてもよかったです。
- ・ 障害の有無にかかわらず、全ての人が夢を追いかけ、そうした社会を実現する方向へ、今、進んでいると、私は信じています。

保護者から

- ・ 障害のある人とふれあう体験して初めて知ることもあると思うのでこれから、子どもと一緒に体験して伝えていけたらいいと思いました。
- ・ 身近に支援を必要としている方は多くいらっしゃいますので、私も障害を知る・体験する・伝えるを心がけ、実際に少しでもかかわってみたいと思いました。
- ・ 自分自身も障害があるないにかかわらず平等に過ごせる社会になってほしいと願わされる講座でした。ありがとうございました。

今年度も高校生だけでなく、高校の先生や保護者の方に参加いただきました。また、素敵な感想をいただき、励みになりました。ありがとうございました。

おわりに

今回も高校生をはじめとする多くの方々に参加していただいたことに感謝いたします。高校生と一緒に「福祉」を学ぶことを通して、私たちは初心に帰ったり、新たな気づきがあったり、多くの学びを得ることができました。また、多くの人に「福祉を伝えること」を実現していきたいと思いました。この講座を開催するにあたりご協力いただいたすべての皆様に感謝いたします。

「はーと♥ふくし講座」スタッフ一同



令和2年度 はーと♥ふくし講座

令和2年度
予定

- 第1回 4月24日(金) 18:30~20:00 「ふくしてなに?~私たちのくらしとつなげて~」
- 第2回 5月15日(金) 18:30~20:00 「障害をく知ること>は共に生きることの第一歩~障害者スポーツを通して学ぼう」
- 第3回 6月日程未定 はーと♥ボランティア講座
- 第4回 7月31日(金) はーと♥ふくし講座(あいサポーター養成、特別編)

※すべての日程が確定するのは、4月以降になります。4月以降、大学ホームページでご確認ください。

編集
後記

今年もたくさんの高校生たちとの出会いから多くの刺激をいただきました。さて、来年度は、私たちが4年生になり、講座を担当します。がんばりますので、高校生の皆さん、一緒に「福祉」を学んでください。

社会福祉学部教職課程3年生一同